

ふるさと 通信員だより

vol.174



私が町内の身近な
話題を紹介します♪

たかだ てつこ
高田徹子通信員

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域的话题を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



音楽療法は介護予防に 効果あり

介護老人福祉施設ロータス音更で「文化展in音楽会」が開催され、デイサービスに通っている36人が参加しました。
指導するのは、音更在住の音楽療法士、広崎真澄さん。
広崎さんのピアノと巧みなかけ声に合わせ「もみじ」や「里の秋」などの童謡を手遊びや手話を交えて歌いました。懐かしさのあまりポロポロ涙を流し、音楽に癒やされました。
音楽療法は、歌や運動、楽器演奏で脳や心身の活性化、介護予防などに効果があります。
最後に全員でハンドベルを持ち「チャンチキおけさ」を自由に演奏して楽しみました。



懐かしい浪曲に魅了

老人クラブ東部福寿会(今井武会長、会員61人)例会の「会長の浪曲を聴こうかい」が、総合福祉センターで開催されました。
今井会長は潮田武という芸名で帯広浪曲学校の校長も務めており、潮田月若副校長と迫力ある2席が披露されました。三味線の伴奏と独特の節まわし、語りで参加者35人を魅了。
校長の「大石東下り」の1席では「節々で拍手をもらおうと非常にやりやすいので」と巧みな語りで会場は笑いと拍手に包まれました。
参加した三輪キエさん(86)は「懐かしくて素晴らしい」と感動していました。